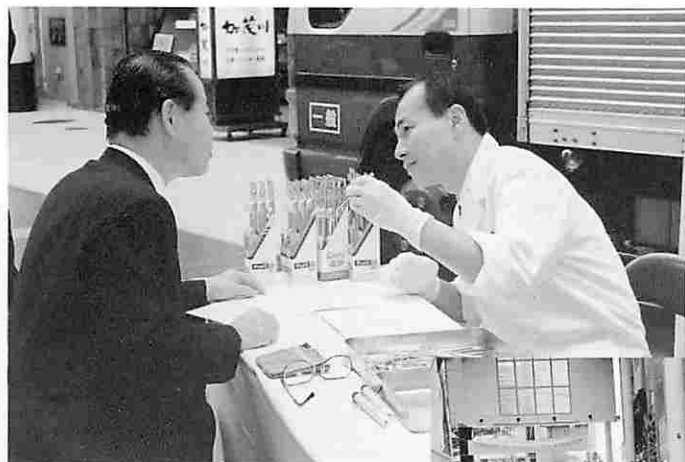


中 島



平成 12 年度熊本市歯科医師会通常総会 第 2 回学術講演会



目

次

巻頭言	矢毛石 豊 常務理事	1
平成12年度熊本市歯科医師会通常総会		2
在宅歯科推進事業説明会		5
平成12年度熊本市歯科医師会代議員会		8
スタッフレベルアップセミナー		11
第2回熊本市歯科医師会学術講演会		12
Study		14
「残根の活用」	—小野 秀樹—	
委員会だより —公衆衛生委員会—		17
支部だより —中央支部親睦旅行—		18
スポーツの広場		19
総会資料		20
会務報告		27
編集後記		

—表紙のことば—

「歯の衛生週間 上通りイベント会場にて」
 6月3日、本年より市歯主催で上通りアーケードにて歯科相談
 健診などが行われました。江藤市議会議長はじめ他の来賓の
 方々も歯磨き指導を受けられ、盛会裡に無事終了することが
 できました。

「会員及び地域歯科医療に 益するための定款見直しを」



矢毛石 豊 常務理事

会計を担当させていただき1年が経過しましたが、おかげ様で本会の会計並びに事業全般に渡り、順調に執行されていますことを御報告申し上げます。

また定款見直しにつきましても、準備委員会より約4年間携わらせていただいたおかげで、歯科医師会の根本である定款・諸規則の重要性がおぼろげに見えた様な気が致します。定款見直しをするにあたり、会員の為の定款であり、また社団法人歯科医師会の目的完遂、存在意義の為の定款でなければならず、執行部的立場から見た上意下達であってはいけないとの理論のもと取り組んだつもりでしたが、再度見直しを行うこととなりました。

2回目の定款見直しを担当するにあたり、発想の転換をする為歯科医師会とはまったく関係のない本を数多く読みました。その中の一冊、元東京大学学長の有馬朗人先生の「21世紀のパワー」の中で「21世紀の教育《独創性》への考え方」の項目に、「日本人は随分《独創性》を持っていると言う事を強調したいと思うのです。ではなぜ10年程前に、特にアメリカから『日本人は物まねばかりしている』と批判を受けたか、このことについて考えてみる事に致します……。」と言う件りから始まり、個人・社会・国家について色々と述べられております。私はこの個人・社会を「歯科医師会会員」と「歯科医師会」に置き換えて考える事により、また別の見方で定款見直しに取り組む事が出来ました。

医療改革の方向として歯科医師の「定員制」「定年制」と言う事を聞いた事があります。これはドイツの医療改革を模範として考えが進められている様ですが、ドイツにはドイツの大陸的な考え、国民性、宗教、教育などの長い歴史のはぐくむ過程の結果出来あがったもので、まったく別の歴史をもつ国民性の日本がこれをお手本として、日本風味に味付けせず導入しても医療保険改革が出来るのだろうかと思えます。

定款見直しにあたって約30の都府県市より定款を取り寄せ参考にしましたが、熊本市歯科医師会の既存の定款を基本とし、熊本市歯科医師会会員、及び社団法人歯科医師会が地域歯科医療の完遂、公益のため万全を期する事ができる様な定款となる様、努力する所存です。

生前給付金の支給決定

平成12年度 社団法人熊本市歯科医師会通常総会

3月22日(木)午後7時30分より県歯会館3Fホールにて表記総会が開催された。



1. 開会
2. 議長及び副議長選出
議長 林正之先生
副議長 木村義浩先生
3. 議事録署名人選出
田中宏先生
清水陸博先生
4. 物故会員に対する黙祷
5. 会長挨拶

今年度は昨年8月に本会創立70周年の記念講演、式典、祝賀会を開催した。多数のご出席にて盛大に開催された。70周年という長い間この歯科医師会を支えていただいた先人に感謝を申し上げる。昨年の4月には医療保険制度の改正が行われた。日歯の要望とは裏腹に2.5%のアップ修正に留まった。この2.5%の多くは、かかりつけ初診及び再診料ということです。残念なことにこのかかりつけ初診、再診を算定している先生方が非常に少ない。このかかりつけ歯科医という

もの、ただ点数のアップだけに留まらず、21世紀に向けた大きな意味が含まれているような感もする。また2002年には医療保険法の抜本改正が行われるという予定であるが、おそらく無理だろう。今までの枠組みとかまた老人医療とか、そういうものを整理した上での抜本改正を行うのは先のことになるだろうと思う。また国の動きであるが、規制緩和それから競争原理の導入というものは21世紀の厚生労働省の基本的な戦略だと聞いている。経済産業省では消費者ニーズに対応した医療介護サービスを提供するため事業者間の競争の活性化を図り、事業者の創意工夫を活かした自由な活動が行われることが重要でそのために医療介護分野における広告や病床、経営状態などの規制については抜本的に見直し、競争制限的なものについては原則として緩和、廃止することが重要であるということをも提案した。また、広告規制については最終的には撤廃すべきであるというコメントも出てきている。我々地方の会員は、国の動向というものをよ

く見極めながら、医院経営というものに取り組まなければ立ち遅れるのではないかと考えている。今日ご来賓の堤県歯会長それから吉田専務の方から日歯の動向についていろいろお話があるだろうと思う。熊本市は今年度熊本市保健推進協議会というものを発足して、行政が行っている歯科保健と歯科医師会が行っている歯科保健とを一本化し、大きな骨組みを作りながら、熊本市民のニーズに応えた歯科保健のあり方を検討中である。これができあがると、歯科医師としての評価が高まってくるのではないかとと思う。また私たちも21世紀の歯科医院経営ということで、次年度から執行部で勉強会を開催しながら会員の皆様に縷々伝えていきたいと考えている。また介護保険の導入が4月にあったが請求をしている先生方が非常に少ない。これはケアプランの中に歯科の項目が少ないため、歯科であがってくるのが少なく、そのために歯科医師が居宅療養管理事業所としての十分な働きをしていないということがある。それでケアマネージャー及び調査員に対しての歯科的な啓発をさせてくれと、また行政の方でもそれをしていと言っておりますので、次年度になろうかと思いますが、これも推進していきたいと考えている。平成3年に在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業がスタートして今まで経過して熊本市民の中にこの寝たきり者の歯科保健医療福祉の推進事業が非常に浸透してきたわけですけど、ここに来て次年度から見直すという形になった。実は明日(3/23)、介護保険の説明会それから在宅寝たきり老人等の説明会があるので、会員の皆さま方出席されて今後の自院の歯科医療に十分に反映させていただきたいと思う。執行部で次年度から一丸となって患者受診促進に向けて頑張っていきたい。今年度の総会は平成11年度の各会計の決算及び平成13年度の事業計画及び各会計の予算案が主な議題である。よろしく慎重審議されますようお願い申し上げまして挨拶といたします。

6. 来賓挨拶

堤県歯会長



堤・県歯会長による来賓挨拶

7. 報告

- | | |
|------------|----------|
| (1) 会務報告 | 古賀明専務理事 |
| (2) 庶務報告 | 蔵田幸一常務理事 |
| (3) 会計現況報告 | 矢毛石豊常務理事 |
| (4) 監査報告 | 本田亘監事 |

8. 代議員会審議経過報告

川崎俊明代議員議長



川崎俊明代議員議長による報告

9. 議事

第1号議案

平成11年度熊本市歯科医師会(一般会計)収入支出決算の承認を求むる件 承認

第2号議案

平成11年度熊本市歯科医師会(収益事業会計)収入支出決算の承認を求むる件 承認

第3号議案

平成11年度熊本市歯科医師共済会計収入支出決算の承認を求むる件 承認



第4号議案

平成11年度熊本市歯科医師会退職積立金会計収入支出決算の承認を求むる件 承認

第5号議案

平成11年度熊本市歯科医師会基本財産積立金会計収入支出決算の承認を求むる件

承認

監査報告

第6号議案

平成13年度熊本市歯科医師会事業計画(案)の承認を求むる件 承認

第7号議案

熊本市歯科医師会共済会規程の一部改正(案)の承認を求むる件 承認

第8号議案

平成13年度熊本市歯科医師会(一般会計)予算(案)の承認を求むる件 承認

第9号議案

平成13年度熊本市歯科医師会(収益事業会計)予算(案)の承認を求むる件 承認

第10号議案

平成13年度熊本市歯科医師会共済会計予算(案)の承認を求むる件 承認

第11号議案

平成13年度熊本市歯科医師会役職員退職積立金会計予算(案)の承認を求むる件 承認

第12号議案

平成13年度熊本市歯科医師会会費及び負担金の賦課徴収方法の承認を求むる件 承認



第13号議案

借入金の限度額の承認を求むる件(案)

承認

10. 協議

(1)定款規則改正について

(矢毛石豊常務理事)

経過報告いたします。定款はほぼできあがったが、細則等の見直しになお時間をかけている。中間答申提出後、熊本県へ提出申請。そこから戻ってきたら最終答申として会長へ提出したい。

(2)在宅歯科推進事業について

(古賀明専務理事)

これまでとシステムが変わります。年間400名の要介護要支援の人を保健福祉センターがピックアップしてくる。詳しくは明日(3/23)説明会で行います。

(3)労務研修会について(古賀明専務理事)

12年度は4回コースとなった

(北1、2、3、及び西部支部)

13年度は労基署から継続してほしいということで、3回コースで行う。他の郡市では昼間行っていたのを夜間に行うというように便宜をはかってもらっているのをひきつづき行うことを了承してほしい。次回対象支部は中央、南部、小島、川尻の4支部。

(4)その他

中原そう参議院選挙(菅原副連盟長)

名簿メ切終了しているが、市歯において未提出者が多い。追加提出をお願いする。

11. 閉会

在宅歯科推進事業説明会

委託事業は健診だけ
訪問診療は本会の事業として再スタート

3月23日(金)午後7時30分より県歯会館3階研修室に於いて、平成13年度の健診事業及び訪問診療事業の説明会が行われた。



まず本会の関会長挨拶の後、4月より変更となった熊本市在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業の説明が行われた。介護保険の導入に伴い、若干見直され、委託事業は健診だけ、訪問診療は本会の事業として再スタートする事となった。

又、同時に訪問診療並びにその後の口腔ケアを積極的に実践されている西田宗剛先生による「摂食、嚥下のリハビリテーション」のご講演を頂き、我々歯科医にとって大変興味深い講演でした。



その後、社保担当理事の稲葉先生により訪問診療に於ける介護保険への請求の方法についての説明も行われ、閉会となった。(新しい方式の健診事業に関する資料を添付致します)



資料1

	本年度(4月以降)	昨年度まで
委託事業	健診だけ (1名につき1回の健診)	治療を目的とした健診 (1名につき2回健診)
申し込み方法	5ヶ所の保健福祉センターにて健診希望者を集める。(5月・9月・11月・2月の4回健診希望者を募り、年間約400名を予定)	治療を目的として、保健福祉センターに、本人・家族等より申し込みがあり在宅専任室に依頼が来る。
形式	5ヶ所の保健福祉センターより依頼のあった健診希望者に協力医が健診に行く。健診終了後、治療を希望される方は、本会の在宅担当に申し込みがあり、協力医に依頼し、従来通りの方法で訪問診療を行う。	保健福祉センターより本会在宅担当に申し込みがあり、協力医に依頼し、健診からスタートする。

※注意 ①訪問診療に対する出務手当はありません。

健診事業に関してだけの出務手当です。

②治療目的で保健福祉センターか在宅担当者に申し込みがあった場合は、健診の対象者とはならず、即、訪問診療になります。

③現在訪問診療を受けている者、又歯科居宅療養管理指導を行っている者も健診対象から除く。

④不明な点・疑問点についての問い合わせは、在宅専任衛生士本田まで(TEL346-8020)ご連絡下さい。

在采油方面站队队长徐振报告称

(月分)

患 者	住 所	電 話		-
	氏 名		男 女	M・T・S 年 月 日 (才)
主 訴				
処 置 内 容		□ <u>血液生化学検査</u> ・□ <u>レントゲン</u>		
月 日		月 日		
防 回 費 用		回	検 査 ・ 治 療 延 誤 ・ 中 止	回

担当借料氏氏名

株本市歯科医師会会報

熊本市在宅療養きり者尙科健診事業実施状況報告書

平成 年 月分

[illegible]

健康結果を報告致します。

平成 年 月

此本亦係 三角保之柳

会 長 関 剛 一

(※本会在老即当費が記入し、歸本市に報告します。)

(第36期生 A・O)

初めて在宅訪問歯科に行ったけど、患者さんは皆いい人ばかりで、最後はうれしそうな顔をされていたので口腔ケアは大切なんだなあと思った。最後に「頑張って下さい」と言われたので、とてもうれしかったし、行って良かったと思った。寝たきりになっても、

(第36期生 N・K)

とても貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。これからも頑張りたいです。

在宅歯科推進事業の変更、他協議ふつとう 平成12年度 社団法人熊



3月16日(金)7時30分、県歯会館3Fにて表記代議員会が行われた。

1. 出席確認
2. 開会
3. 議長及び副議長選出
議長 川崎俊明先生
副議長 藤波剛先生
4. 議事録署名人選出
元島博信先生
西銘達生先生
5. 物故会員に対する黙祷
6. 会長挨拶

本年度を振り返り、まず昨年8月に本会創立70周年の記念講演会、式典祝賀会等を開催多数の出席をいただいた。70年という長い間この歯科医師会を支えていただいた先人に厚く御礼を申し上げたい。4月には医療保険法の改正があった。当初は抜本改正が行われると予想していたがある程度の修正という形で留まった。ただかかりつけ初診、再診の評価をしてもらったが、会員の中にはか初診、再診についてまだ積極的に取り組まれているようである。か初診の算定

を全会員がとれるよう努めていきたい。また2002年には抜本改正が行われるだろうというが、おそらく無理だろうと思う。今の医療を取り巻くいろんな規制枠組みを取っ払ったりあるいは老人保健については別枠を設けたりしなければおそらく2002年の抜本改正は間に合わないだろうと思う。厚生労働省が、規制緩和、競争原理の導入といっているが、これは厚生省の21世紀の基本的な戦略だというふうに言う人もいる。おそらく2015年ほどになればこの基盤ができてくるのではないかと思う。また経済産業省では規制については抜本的に見直し、競争制限的なものについては原則として緩和廃止する。広告規制については最終的には撤廃すべきであるという考え方を持っている。ですから21世紀我々医療界は自由な立場でやってくれと、自由な広告をやってくれというふうなことになると思う。そういった国の動向を我々はいち早くキャッチし、会員みんなが考えていかないと取り残されるのではないかとおそれる。歯科医師会として

本市歯科医師会代議員会



は、全会員がこれに対処できるような体勢を作っていくのが急務と思う。平成8年に歯科保健基本計画が策定されたが、それから先が進んでいない。今年度からこの事業に対し熊本市歯科保健推進協議会を設置して、行政と歯科医師会との間で協議している。次年度にはひとつの形としてできてくると思う。歯科保健の基本的な考え方、骨組みを作り胎生時から老人に至るまでの歯科保健のあり方を構築し、また歯科が全身的にどんな影響を及ぼすかということを熊本市民にアピールし、市民の評価を高め、受診促進となるようにしていきたい。また4月には介護保険制度が導入されたが依然として請求が少ない。ただ皆さま方は居宅療養管理事業所として県の方に届けてあります。居宅療養管理を活かして介護保険にも力を入れていきたい。また平成3年に熊本市在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業を熊本市の委託事業として行ってきたが、今までと形態が変わっている。すなわち歯科保健と、居宅療養管理事業所と整合性を問われている。あとで詳しく専務の方でお話がある。またこれについての研修会が今月の23日にあるので出席

してもらいたい。昨日で税務申告の締め切りだったが恐らく前年度と比較すると医業収入の減というところがほとんどだろうと思うが年々伸びている診療所もある。そういう所は21世紀の歯科医療をよく理解しているのではないかと思う。次年度から患者さんの受診促進等について執行部でも勉強しながら会員に浸透させて行きたい。今代議員会は平成13年度の事業計画及び予算案について、主に審議していただくということになります。どうかよろしく審議のほどをお願い申し上げまして挨拶といたします。

7. 報告

- | | |
|------------|-----------|
| (1) 会務報告 | 古賀明 専務理事 |
| (2) 庶務報告 | 蔵田幸一 常務理事 |
| (3) 会計現況報告 | 矢毛石豊 常務理事 |
| (4) 監査報告 | 宇都宮啓一 監事 |

8. 議事

第1号議案

平成13年度熊本市歯科医師会事業計画(案)
の承認を求むる件

第2号議案

熊本市歯科医師共済会規程の一部改正(案)

の承認を求むる件

第3号議案

平成13年度熊本市歯科医師会(一般会計)予算(案)の承認を求むる件

第4号議案

平成13年度熊本市歯科医師会(収益事業会計)予算(案)の承認を求むる件

第5号議案

平成13年度熊本市歯科医師共済会計予算(案)の承認を求むる件

第6号議案

平成13年度熊本市歯科医師会役職員退職積立金会計予算(案)の承認を求むる件

第7号議案

平成13年度熊本市歯科医師会会費及び負担金の賦課徴収方法の承認を求むる件

第8号議案

借入金の限度額の承認を求むる件(案)

9. 協議

(1) 定款規則改正について

細則を見直してから提出する予定

(2) 在宅歯科推進事業について

13年度より健診のみとなります。各保健福祉センターより年間400名程の健診希望者をだす予定。詳しくは3月23日に説明会を行う。

(3) 労務研修会について

13年度は南部、川尻、小島、中央の4支部を対象として行う。

(4) その他

中原そう後援会名簿について

事前質問

Q 金バラの急騰で点数の逆ザヤがつづいている。早急に解決してもらいたい。県歯、日歯に強く要望してもらいたい。

A 県歯代議員会へ提出する予定ですが、4月改正で少しは逆ザヤの減少になるのではないかな。



Q 親子会員の入会金をもう少し入りやすく考慮してほしい。

A 県歯が36回払いとしているので、本会ももっと入会しやすい形で分割の方法を検討したい。

Q カルテの口述筆記ができなくなったということですが、今まではどうなのか。

A 県は今までは認めていた。今回NOとなった。コンピュータカルテについて。県歯はコンピュータはDrが入力、その日にプリントアウトする、指導内容なども自分のことばで記入、打ち込むことと指導している。

苦情相談について

Q 〇県歯ニュースレターでは苦情を患者さんの言い分をのせてるが、Drの言い分ものせたらどうか。

〇匿名の分は答えなくてもいいのではないかな。

A 古賀専務理事が県歯代議員会へ議題として提出する。

10. 閉会

菅原洋副会長

スタッフレベルアップセミナー



4月14日(土)午後2時30分より、県歯会館3Fホールにて33名の参加で、スタッフレベルアップセミナー(ブラッシング及び初診の補助)を開催した。

まず関会長の挨拶の後、ジーシー九州インストラクターの中村、倉員両歯科衛生士を講師に今回は「動機付け、器具選び、マンネリ化等の悩みの解決」を目指した実習主体の研修を行った。



実習を始める前に、かかりつけ初診の説明(スタディモデル、口腔内写真、治療計画、インフォームドコンセント等)が行われ、続いて口腔内カメラでの撮影、スタディモデルの作製実習に移った。印象採得は、椅子にかけた状態で頭部が固定できず、かなり苦労していた様子であったが、口腔内カメラ撮影は写真がプリントアウトできるということで、皆自分の気になる部位を撮影し

大変興味深そうであった。

次に、ブラッシングの実習では各自歯面に鉛筆で印を書いたり染め出しをして、それを実際に歯ブラシを使って手鏡を見ながら毛先磨きの練習を行った。その後、歯ブラシの選択法や指導法についての講義を受けて実習を終了した。

ブラッシングの指導法については、別室において、ビデオ教材を使用して歯肉の変化を見ながら研修した。

以上をもって3時間半のセミナーを終え、最後に受講修了証が渡された。

今回のセミナーは例年より申込者がかなり多くすぐ定員になり、多くの方に御迷惑をおかけしたことを深くおわびします。これからのセミナーも参加よろしくをお願いします。



(医療管理 清川恵治)

「ペリオ・インプラントは今、何をどう考えるべきか」

榊恭範・上田秀朗両先生による
第2回熊本市歯科医師会学術講演会

3月31日(土)午後2時30分より、熊本県歯科医師会館3Fホールにおいて、第2回熊本市歯科医師会学術講演会が、「ペリオ・インプラントは今、何をどう考えるべきか」と題し、榊恭範・上田秀朗両先生を講師に、開催されました。当日は、桜も満開の花見日和の中、北九州歯学研究会でご活躍中の両先生が講師とあって、ホールが満席になるほどの多数の先生が出席されました。今回、それぞれの先生ごとに症例を中心に幅広い内容と細やかな考察が述べられています。



〈榊恭範先生の講演〉

1. 診療システムなどの紹介
2. 長期症例の提示

アパタイト・自家骨にかかわらず、現にスタッフ・患者としてメンテナンスしやすい形が重要ではないかとの意見を出されました。また、骨移植の目的は、上皮の根尖側への進行増殖をわずかに遅らせるために自家骨や骨移植材を利用すると示され、それにより、作られる付着の状態が上皮性密着と結合組織性付着ではメンテナンスのしやすさが異なると話されています。

3. 自家骨、骨膜を併用した再生療法について
(The Quintessence 01年1月号参照)

歯周疾患の治療の目的は、第一に疾病を取り除くことにあり、次になくなった歯の支持組織を回復することにあります。

まず、先生は、骨縁下欠損の3次元的位置を確認するためにグリッド、シルバーポイントの利用が重要であると述べられました。歯の支持組織を再生させる治療法として以下があげられます。

- ①凍結乾燥骨+自家骨→不確実な場合もある
- ②歯根表面のクエン酸処理
(アクロマイシンV(武田))→不確実
- ③GTR→evidence-basedな治療法

以上のことから、歯周組織を再生させるためには骨移植より、歯の支持組織となるように運搬づけられた細胞をうまく利用した術式を使う方が、組織再生の予知性を高められるのではないかと考えられています。

つまり、再生療法を成功させるためには、歯周組織形成能をもつ細胞が豊富に存在する歯根膜を再生させることが重要であり、先生は、歯根膜繊維が付着している歯槽内面の骨質である、束状骨を再生療法の骨移植材として応用しようと試みられました。

最近、Lorenzanaらが、「歯肉退縮部に骨膜付き結合組織を用いて、露出根面上に新付着あるいは骨形成を得る可能性がある」と報告しているそうです。

つまり、組織上の概念から骨膜内層に接する面には可能性がある。そこで、骨膜をメンブレンの代替材として利用可能ではないかという考えに到達されました。



4. ビデオを交えて

遊離歯肉移植などの症例を上記の自家骨・骨膜を併用した再生療法を実際に行われているものにより、わかりやすく説明いただきました。

〈上田秀朗先生の講演より〉

1. 欠損部に応用するインプラントの利点(確実な咬合支持の獲得、単独処置可能)
欠点(過重負担に弱い、感染に対して弱い)



2. 健全天然歯とインプラント周囲の組織学的相違点

付着上皮

天然歯	ヘミデスモゾーム
インプラント	物理的接合は期待できない (付着上皮と同じではない)

結合組織

天然歯	セメント質とシャーピー繊維による強固な付着
インプラント	ほとんどインプラント体に対して平行に走行している。シャーピー繊維による結合は獲得できない。

歯根膜

天然歯	セメント質と固有歯槽骨にシャーピー繊維
インプラント	オッセオインテグレーション

以上のように物理的封鎖が弱いためインプラント周囲は角化歯肉で覆いたい。

3. 症例

- ①咬合支持歯が歯周疾患に冒された少数歯欠損症例

メンテナンスは、プラークコントロールが中心であるが、インプラント周囲に関しては注意を要し、その間隔を次第に長くする。
(1回/週、1回/2週、1回/月、1回/2月)

咬合はインプラントと歯では同じ強さに与える。また、歯周疾患に罹患した歯は、水平的、垂直的に咬合支持が不安定となるが、インプラントにより残存歯牙の負担が軽減されたと話されました。

- ②上顎前歯部が歯周疾患に冒された少数歯欠損症例

- ③上顎犬歯部にインプラント補綴を行った症例

犬歯は咬合の要であり、また、審美性を要求される部位でもある。しかし、この場合は、犬歯部に咬合力の集中がおきないように配慮する。審美的な欠損補綴処置を行う理想的な位置への埋入を行うため、GBRが必要となる場合もある。

- ④上下顎多数歯欠損症例

上顎多数歯欠損のインプラントでの対応の場合は、骨質、骨形態、インプラントの方向、審美性に問題がある場合がある。特に、歯周疾患罹患歯やインプラントは、過重負担に弱いので、咬合力をバランス良く分配する必要がある。



以上のように、両先生ともに、基本に忠実かつ、より最適な方法を目指して、新たな努力をなされている姿が受け取れました。多数の聴衆も基礎からのフィードバックと最新の臨床を十分堪能できたものと思います。

(学術 高松尚史)

残根の活用－歯牙を少しでも長く残すために－

小野 秀樹

はじめに

日々の臨床において、義歯による補綴を設計するにあたり、抜歯が適応と考えられる残根や、抜歯でなくとも歯周組織の状態が悪く鉤歯としては利用できないものなどに多く出会う。患者さんとしてはできるものならば、このような残存歯でも抜歯せずに保存し、なるべく現状を維持したいと願うものである。そこで、このような残根の利用に注目し、必然的に、または積極的に残根性の義歯を取り入れた方法について考えてみたい。

適応症例

- 歯肉縁下カリエスがありそのままでは抜歯の適応となる残根

歯肉縁下カリエス、もしくは骨縁下におよぶカリエスがあり、そのままでは抜歯の適応となる残根でも、エクストルージョン、歯冠長延長術、外科的挺出などの方法により健全歯質を歯肉縁上に出すことができる。しかし、歯根が短く歯冠修復するには歯冠歯根長比が悪い場合でも床下残根とすることにより保存することができる。特に後方の臼歯の場合抜歯すれば粘膜負担の大きい遊離端義歯となるが、保存することにより歯牙負担の大きい中間欠損の義歯とすることができる。



写真1



写真2

－写真1、2－

骨縁下カリエスのある残根を挺出後にオーバーデンチャーの鉤歯として利用した症例の術前と術後の口腔内写真

写真3



写真4



－写真3、4－

同症例の術前、2年経過後のレントゲン写真

- 歯槽骨の吸収が著しく見られるもの

歯槽骨の吸収が著しい歯牙を鉤歯とした場合、歯冠歯根長比が悪い為、歯冠にかかる力が側方力として働き、歯牙は動揺し早期抜歯が予想される。この場合、歯冠を切除し短くすることで、歯冠歯根長比が改善され、側方力を減らすことができる。特に、前歯部の場合、床下残根にすることによりクラスプデンチャーでは見えていたクラスプが除去でき審美的にも良好になる。また、1歯残存の場合、義歯の辺縁封鎖ができずに維持力不足に悩まされることがあるが、床下残根にすることにより辺縁封鎖が可能となり、維持力を上げることができる。（写真6）

1歯残存例では義歯の維持も審美的にも不良のことが多い。（写真5）

写真5



写真6



- 少数歯残存例で咬合支持が喪失しているもの
咬合支持の喪失に伴い通常のクラスプデンチャーでは、義歯が安定しない、いわゆるすれ違い咬合となる。この時、残存歯を義歯床下に置くことにより、咬合の単純化、一本化がはかれる。レストに関して考えれば、歯冠の咬合面上に置くより床下残根にした方が作用点が低くなるために側方力となりにくい。

床下残根の処置方法

残根の処置方法には根面の鋭縁部のみを削合する方法や、アマルガム、レジン、セメントなどの充填物で被う方法(ノンコーピング法)と、鑄造歯冠修復物で被う方法(コーピング法)がある。現在の保険制度では床下残根はコーピング法で被わなければならない、また、歯根の破折やウ蝕のなりやすさの点からもコーピング法の選択となる。ノンコーピングは、抜歯が禁忌である症例のみに限られている。

根面板(コーピング)形態

コーピングは形態により高さの高いロングタイプと高さの低いショートタイプ、断面形態が台形のスクエアタイプと円形のドームタイプに分けられる。どの形態を選択するかはそれぞれの症例において異なるために、選択の基準を考えなければならない。

○支台歯の負担と義歯の安定性

ショートタイプよりロングタイプの方が支台歯の負担は増える反面、維持安定力は増す。同様にドームタイプよりスクエアタイプの方が維持安定力は増す。この形態は、支台歯にかけ

られる負担力の違いにより選択するべきであろう。

○清掃性

コーピングは義歯床下にあることから清掃性が悪く炎症をおこしやすい。そこでメンテナンスにおいて注意が必要であるが、清掃性はショートタイプに比べてブラシのガイドする面のあるロングタイプの方が優れている。清掃を行えるには3~4ミリのガイド面が必要である。また、マージン部の不適合や、デッドスペースのあるものは清掃しにくい。

○人工歯の排列スペース

前歯部においては顎堤の保存状態により人工歯の排列スペースを確保できない場合がある。この場合は唇側部分のスペースを確保する形態が必要となってくる。

コーピング支台歯の形成

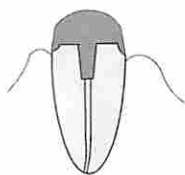
形成の要点はマージン部の形成と根管形成である。

○マージン部

コーピングは内側性と外側性の形態を持っていることから適合が難しいために、単純なマージンラインが必要であろう。また、アンダーカットを作らないためにもシャンファーマー形態とし、マージン部のメタルの厚みを確保する必要がある。歯牙に楔の作用を与えないためには歯根を抱え込むような形態が必要である。

○根管形成

コーピングに維持力を求めないショートタイプの場合はポストの長さは脱離しない最小限でよいが、側方力のかかるロングタイプ、またはスクエアタイプの場合は脱離しにくく、歯根を破折させないためにも長いポストが必要となる。



ガイド面を持つドーム型コーピングとシャンファーマー形態のマージン部分

義歯セット後のコーピング部の調整

オーバーデンチャーでは粘膜歯牙の混合負担であるために調整不足の場合、コーピング部に大きな咬合力の負担がかかり、コーピング支台歯の疼痛や、義歯の破折を来すことがある。このため、義歯適合試験剤を用いて十分な粘膜支持ができるまでコーピング部義歯内面を調整する必要がある。特に磁性アタッチメントにおいてコーピング(キーパー)上部は磁性アタッチメントとなるために、メタルストップとなり内面の磨耗が望めない。そのため磁性アタッチメントセット前の十分な調整が必要であり、セット後もアタッチメントの適合状態の検査が求められる。

最後に

オーバーデンチャーはもともと保存条件のよくない歯牙を鉤歯として使用することが多いた

め、不幸にして抜歯となることも多い。しかし、歯牙を少しでも長く残すことができると、万一抜歯になっても最小限の義歯の修理ですむことは患者さんにとっての心理的効果は大きいと思われる。

参考文献

- (1)長岡英一:オーバーデンチャー
／永末書店、京都1984.
- (2)長岡英一:残根の診査・診断と補綴設計への応用
／補綴臨床、33(2)、134-142、2000.
- (3)真鍋顕:死腔と歯周組織
／補綴臨床別冊／パーシャルデンチャーの臨床、214-217、1990.
- (4)斉藤正博:根面板についての臨床的研究
／補綴誌、42、972-980、1999.

在宅訪問歯科研修の感想

(第36期生 Y・N)

初めての在宅訪問で少し不安だった。最初の患者さんは、笑顔でむかえて下さって少し安心した。声かけをするとちゃんと答えて下さってとてもしやすかったです。私はブラッシングをさせてもらって、緊張していて歯ブラシが汚れても洗うのを始めは忘れていきもち悪い思いをさせてしまったと思った。患者さんへの気配りがあまりできず、長い間口を開けたままできつい思いをさせてしまった。下顎前歯の所の歯肉がはれていてブラッシングをした時痛そうだった。

Nさんという方は入院されていて、病院に行きた。長時間ケアをされるのがわからないみたいだったけど、口を開けて下さいと言ったらちゃんと開けられて、わかるんだと思った。じっと見つめ

られてどうしたらいいのかわからなく、笑っていた。本田先生が今日はちゃんと開けて磨かせてくれて順調といていたので良かった。ちゃんとあいさつをしたら笑顔で返してくれたように見えてうれしかったです。2人訪問した後に時間があつたので長寿の里という所に行きました。とてもきれいな所で歯科室もあり、見学させてもらった。車いすの方が動き回れるようにユニットの周りのスペースが広く、パノラマも車いすのままできるようになっていて、考えてあるなあと思った。デイサービスの訪問は初めてでみなさんカラオケなどされていて楽しそうだった。今日は初めてのことばかりでとまどうことも多かったけどとてもいい体験をさせてもらった。ありがとうございました。

「天草パールラインマラソン大会」の健康測定に参加



第29回「パールラインマラソン大会」が3月11日(日)、天草郡大矢野町で開かれました。天気に恵まれ、晴れ渡った青空の下、5000人近い人が全国から集まりました。

開会式、準備体操の後、10キロと20キロに分かれて、午前11時にスタートしました。「遅いあなたが主役です」のキャッチフレーズどおり、会場全体がお祭りのムードに包まれ健康をかみしめる1日となりました。

尚、本大会では、熊本市保健医療専門団体連合会による走行前後の健康測定が例年通り行われ、公衆衛生委員会、衛生士会は、健康測定の受付として参加しました。

(公衆衛生 齊藤忠継、杉野弘武)

在宅訪問歯科研修の感想

(第36期生 I・Y)

初めは、何をしたいかわからず、とまどったりしました。でもいろいろ教えてもらいながらなんとか終わりました。ありがとうございました。

今日の在宅訪問で感じたのは、体が不自由な方なので、健康な人を治療するみたいにはスムーズにいかない、いろんな所に気をつかいながらしないといけないんだなあと思いました。あと、患者さんの家の中で治療が行われるわけで、スペースが狭く、いつもとちがうから、なれませんでした。

いい経験ができました。在宅訪問という、診療所とは違う経験ができたのでよかったです。でも大変だなあと思いました。今日はお世話になりました。お昼ごはんなどごちそうさまでした。

(第36期生 M・T)

在宅訪問は初めてということもあり、何をすればよいか、わからなくて何も出来なかったと思う。患者さんは今何をしたいかに気付かずよくな

かったです。タービンなども持ち運びができるものがあり、在宅訪問は普通の診療所とは違って大変だったと思う。この訪問で動機付けになり、Hさんという方は前に比べるとブラークの量も減り、食物残渣がなくなったそうです。前は1日に1回磨けば良い方だったんですけど今では朝食後、夕食後と磨くようになられたおかげでずいぶん口腔内がきれいになっていたということです。そういうのを聞くとなんだかうれしい気分になりました。

Kさんという患者さんは緊張されていたのか、たんがさらされてスムーズに治療がすすまなかった。歯肉なども腫れていて出血が多く、抜髄のときは大変そうでした。見学をさせてもらい、よい勉強になりました。でも、何に対しても気付かず、かえって足手まといになっていた部分もあったと思います。今日はお世話になりました。お昼もごちそうさまでした。

中央支部親睦旅行

4月21日午後7時より阿蘇内牧温泉ホテル角萬において中央支部会員の親睦を目的として旅行が行われた。翌22日は有志により親睦ゴルフも行われた。前回支部親睦旅行から実に10年以上たっており(ちなみに前は水俣)久々の支部旅行となったのでご報告することとなった。

参加者は12名と少数であったが、大広間での宴会では、カラオケも飛び出し盛況に終わった。宴会後、それぞれ温泉街に繰り出すものと思われたが、殆どの先生がホテルの一室に集まり夜遅くまで、酒盛りが行われ、1次会以上の盛り上



がりを見せた2次会となった。わずか1泊ではあったが温泉気分を味わえた旅行となった。翌22日は晴天に恵まれ、ゴルフに参加する先生方と、自由行動の先生方に分かれ、各々爽やかな阿蘇の自然を満喫することとなった。自由行動の一部の

先生方は白水まで移動し白水高原ビールに舌鼓を打った。また親睦ゴルフは、阿蘇東急ゴルフクラブで行われ、斉藤朗先生の優勝で幕を閉じた。

前回旅行から年数がたっており、次会の旅行が待たれる。

(中央 山本資晴)



ゴルフ結果

順位	競技者名	O	I	G	H	N
優勝	斉藤 朗	43	43	86	12.0	74.0
2位	千場 正昭	48	42	90	15.6	74.4
3位	元島 博信	39	47	86	10.8	75.2
4位	千場 敏昭	42	39	81	4.8	76.2
5位	津田 勝久	48	55	103	24.0	79.0
6位	川崎 俊明	38	49	87	7.2	79.8
7位	元島 渥子	57	52	109	28.8	80.2



スポーツの広場



空港デンタル会

平成13年5月13日
ダブルペリア方式

14名

	O	I	G	H	N
優勝 大嶋 健一	38	42	80	9.6	70.4
2位 内田 隆	41	42	83	9.6	73.4
3位 小田 和人	42	47	89	15.6	73.4
4位 中根 俊吾	47	47	94	20.4	73.6
5位 渡辺 博	41	44	85	10.8	74.2
B.B 坂梨常太郎	49	51	100	22.8	77.2

熊本デンタル

平成13年3月25日

16名

	O	I	G	H	N
優勝 稲葉逸郎	38	43	81	4	77
2位 坂梨常太郎	44	48	92	15	77
3位 三管 司	48	42	90	12	78
4位 中島義和	43	43	86	7	79
5位 甲斐利博	42	45	87	6	81
B.B 渡辺 洋	49	56	105	16	89

トーナンデンタルゴルフ会

平成13年1月28日

15名

	O	I	G	H	N
優勝 宮崎 幸一	42	42	84	17	67
2位 北川 隆之	44	41	85	14	71
3位 坂井 満	44	43	87	14	73
4位 内田 隆	44	42	86	12	74
5位 古賀 明	44	43	87	12	75
B.B 本田 治夫	49	51	100	17	83

平成13年4月22日

13名

	O	I	G	H	N
優勝 中島義和	38	39	77	7	70
2位 大嶋 健一	40	42	82	10	72
3位 松本 光示	38	39	77	5	72
4位 本田 亘	44	48	92	15	77
5位 小田 和人	45	45	90	12	78
B.B 松本 真典	45	50	95	10	85

平成13年2月25日

14名

	O	I	G	H	N
優勝 内田 隆	42	40	82	12	70
2位 坂井 満	43	44	87	14	73
3位 山室 紀雄	46	42	88	12	76
4位 河合 隆一	44	45	89	11	78
5位 七川 洋二	51	47	98	19	79
B.B 宮崎 幸一	51	46	97	12	85

平成13年3月20日

15名

	O	I	G	H	N
優勝 井口 泰治	42	41	83	14	69
2位 大森 秀則	47	45	92	21	71
3位 本田 治夫	45	44	89	17	72
4位 宮崎 幸一	42	41	83	11	72
5位 河合 隆一	41	45	86	11	75
B.B 河野 敏明	51	51	102	15	87

庶務報告

H13.2月末現在

1. 現在会員数

	327名
一般会員	278名
親子会員	2名
終身会員	39名
勤務会員	0名
特別会員	8名

2. 入会者

H12. 4.26	二宮康郎	熊本市帯山2-12-24	東部3
H12. 4.26	有働秀一	〃 南千反畑町10-5	北部2
H12. 5.22	新名正明	〃 本荘6-17-15	南部
H12. 9.20	鳥谷明広	〃 九品寺5-7-12	東部1
H12.11.25	清水睦博	〃 水道町9-31 日産火災熊本ビル4F	中央
H12.11.25	京極和彦	〃 出仲間1-3-1 ウッディマンションけやき通り1F	南部
H13. 1.24	大村順子	〃 九品寺5-8-15	東部1
H13. 1.24	飯田誠治	〃 長嶺東1-1-25	東部3
H13. 1.24	伊藤道子	〃 武蔵ヶ丘1-2-38	北部3
H13. 2.28	高木雅子	〃 上通7-2 いづみビル2F	中央

3. 物故者

H12. 3.13	中山哲夫	熊本市水道町9-31 日産火災熊本ビル4F	中央
H12.11. 9	田中勉	〃 九品寺2-6-75	東部1
H12.11.27	東正章	〃 南熊本3-11-21	南部
H12.12.23	松本謙一	〃 南坪井町3-3	中央
H13. 2.23	大関英明	〃 黒髪1-5-17	中央

4. 退会者

H12. 5.31	森永陽一	熊本市春日1-17-15	南部
-----------	------	--------------	----

5. 代表歯科医変更

(御幸病院)	弘中美貴子	→	田川 あい〔H12.3月〕
(インプラントセンター九州)	市丸 英二	→	林 昭宏
(長寿の里歯科診療所)	村上 俊輔	→	田中 浩一

第6号議案

平成13年度熊本市歯科医師会事業計画（案）

厚生委員会

1. 第25回熊本市歯科医師会親睦大会
2. 平成14年熊本市歯科医師会新年懇親パーティー
3. 入院入所者歯科診療の集計
4. 会員、家族・従業員の健康診断

公衆衛生委員会

1. 歯の衛生週間行事
 - 母と子のよい歯のコンクール(50周年記念)開催
 - 上通イベント ○8020表彰
 - 歯科無料相談(市役所ロビー) ○全会員による歯科無料健診
2. 熊本市立幼稚園フッ素塗布(年2回)
3. 熊本市民健康フェスティバル
4. 健康教室講座講演出務
5. 天草パールラインマラソン出務
6. シティエフエム出演

学術委員会

1. 学術講演会 1回
2. 会員からのQ&A作成(毎月1枚)
3. 日歯生涯研修ビデオ配布(全会員へ)

社会保険委員会

1. 県社保委員会との緊密なる連絡、協議
2. 社保関連諸会議、研修会への出務と協力
3. 保険診療、請求事務に対する研究と対応
4. 診療報酬改正に対する素早い対応
5. 保険診療に関する説明会、講習会の開催
6. 県歯及び県社保事務局主催の保険集団指導への対応
7. 個別指導者に対する事前指導
8. 保険者の苦情、質問等への対応
9. 介護保険に関する指導と対応

学校歯科委員会

1. 熊本市学校保健会歯科部としての活動並びに協力参加
2. 熊本市立保育所・幼稚園・小学校・中学校の園医、校医の推薦
3. 熊本県学校保健研究協議大会への参加
4. 九州地区学校保健研究協議会への参加
5. 歯の衛生週間の期間、ビデオ・スライドの貸し出し
6. 熊本市立幼稚園及び小学校での歯磨き巡回指導
7. 熊本市民健康フェスティバルへの出務
8. 熊本小児保健研究会、熊本市エイズ総合対策推進会議出務

医療管理委員会

1. スタッフ研修
 - 接遇レベルアップ研修会
 - 研修セミナー
 - ブラックコントロール、ブラッシング
 - かかりつけ歯科(印象、模型、写真)への対応
 - 在宅歯科診療での口腔ケア
2. 三歯会座談会
3. 救急蘇生法講習会(11月)国立熊本病院と共催
4. 救急蘇生法マニュアル作成
5. 税務申告説明会(平成14年1月)
6. 平成14年度税務カレンダーの作成(平成14年3月)
7. 放射線漏洩測定器の貸出管理
8. その他
 - ①特別管理産業廃棄物報告書相談会(6月)
 - ②熊本市市役所職員、家族歯科健診の対応
 - ③後方支援病院への対応
 - ④代診制度への対応
 - ⑤就業規則労務及び歯科医療経営の検討
 - ⑥国立熊本病院開放型病院への対応
 - ⑦青色申告会への対応
 - ⑧院内掲示ポスター類の更新及び新製

広報委員会

1. 「中岳」年4回(6、9、12、3月)発刊
2. 「かわら版」年12回 毎月発行

第7号議案

社団法人熊本市歯科医師共済会規程の一部改正（案）の承認を求むる件
（提案理由）

昭和42年4月1日より施行された共済会制度は、会員の生活保障、又遺族保障の一助を担って来ており、今日まで順調に運用されてきておりますが、毎年度100万円以上の余剰金が生じ、このままでは積立金が増えていくばかりと予想され、会員にとって有効に活用されているとは思えない。そこで、当歯科医師会の会員も高齢化が進んでいることから、基金の有効的な使途と高齢化対策を重点に検討したところ、生前給付金を支給するのが最善の方法ではないかと検討し、ここに共済会規程の一部改正を提案する。

◎追加項目

第6条⑧ 終身会員となった者に対しては、生前給付20万円を支給し、弔慰金は30万円とする。
○給付期間：該当条件に達した年度の翌年度
但し第6条は5年毎の見直しを行う。

第8号議案

平成 13 年度熊本市歯科医師会（一般会計）予算（案）

〈収入の部〉

款	項	目	科	目	予	算	額	前年度予算額	増	減	備	考
1			会費入会金収入		39,792,000		41,932,000			2,140,000		
	1		均等割		20,512,000		20,652,000			140,000		月6,000円
	2		保険診療負担金		11,280,000		11,280,000					保険診療収入の1,000分の1
	3		入会金		8,000,000		10,000,000			2,000,000		
2			過年度会費		50,000		100,000			50,000		前年度未納者
3			事業収入		39,305,000		44,532,000			5,227,000		
	1		委託料		39,000,000		44,382,000			5,382,000		
		1	長寿の里委託料		24,000,000		23,000,000		1,000,000			
		2	在宅健診委託料		15,000,000		21,382,000			6,382,000		
	2		健診料収入		245,000		70,000		175,000			熊本市職員家族歯科健診、アッ素塗布料金
	3		入院入所者事業収入		60,000		80,000			20,000		機械使用料
4			県歯より事業助成金		7,100,000		7,100,000					
5			雑収入		730,000		570,000		160,000			
	1		預金利子		530,000		370,000		160,000			
	2		雑入		200,000		200,000					依頼費、入歯手帳代、企業
6			前年度繰越金		8,000,000		8,000,000					健診手数料
7			借入金		1,000		1,000					
			計		94,978,000		102,235,000			7,257,000		

〈支出の部〉

款	項	目	科	目	予	算	額	前年度予算額	増	減	備	考
1			事業費		53,799,000		56,741,000			2,942,000		
	1		委員会支出		13,301,000		11,728,000		1,573,000			
		1	学術委員会費		1,354,000		1,358,000			4,000		
		2	公衆衛生委員会費		2,566,000		1,466,000		1,100,000			
		3	社会保険委員会費		680,000		680,000					
		4	医療管理委員会費		1,435,000		1,260,000		175,000			
		5	広報委員会費		2,740,000		2,735,000		5,000			
		6	厚生委員会費		2,598,000		2,448,000		150,000			
		7	学校歯科委員会費		1,088,000		941,000		147,000			
		8	各種委員会費		840,000		840,000					資格審議会 臨時委員会 医研連理事会 健康フェスティバル その他対外会議費
	2		医政費		2,220,000		2,220,000					
	3		長寿の里支出		23,140,000		22,135,000		1,005,000			
		1	人件費		16,000,000		17,704,000			1,704,000		職員3名分(D1名 D12名)会議費
		2	薬品費		400,000		200,000		200,000			
		3	歯科技工料		2,500,000		2,000,000		500,000			
		4	診療材料費		1,400,000		1,200,000		200,000			
		5	事務用品費		500,000		300,000		200,000			
		6	事務費		2,340,000		731,000		1,609,000			レセプト請求事務代 その他
	4		在宅健診支出		15,000,000		20,520,000			5,520,000		
		1	健診料		8,000,000		10,400,000			2,400,000		協力医への健診料
		2	衛生士費		5,500,000		7,600,000			2,100,000		
		3	評価委員会費				412,000			412,000		行政がやることになった
		4	運営協議会費				100,000			100,000		
		5	備品管理費		225,000		225,000					
		6	消耗品費		250,000		250,000					
		7	通信費		270,000		270,000					
		8	保険料		250,000		332,000			82,000		自動車保険、障害保険
		9	管理運営費		505,000		931,000			426,000		リコピー料、事務所借室料
	5		健診事業支出		60,000		60,000					
		1	健診料		60,000		60,000					1人3,000円
	6		入院入所者事業支出		78,000		78,000					
		1	薬品費		8,000		8,000					
		2	補修管理費		70,000		70,000					
2			管理費		23,826,956		23,015,916		811,040			
	1		渉外費		840,000		700,000		140,000			香典料 御樽代等
	2		役員報酬		4,420,956		4,420,956					役員14名分
	3		職員給料		5,325,000		5,080,800		244,200			職員3名分
	4		職員諸手当		2,950,000		2,900,000		50,000			職員2名分
	5		厚生費		1,410,000		1,410,000					事業主保険料等
	6		旅費		1,350,000		1,200,000		160,000			九州八市役員協議会 交通費
	7		需用費		2,400,000		2,400,000					郵送費 TEL FAX
	8		事務所費		1,056,000		1,056,000					借室料 水道光熱費
	9		備品費		150,000		150,000					

款	項	目	科	目	予	算	額	前年度予算額	増	減	備	考
	10			委託費			900,000	900,000				税理士顧問料、コンピュータ管理費
	11			使用料及び賃借料			600,000	83,160	516,840			コンピュータリース料(5年)
	12			租税公課			1,200,000	1,500,000		300,000		法人税 消費税
	13			雑費			1,215,000	1,215,000				封筒印刷 お茶代 その他
3				会議費			1,800,000	1,600,000	200,000			常務会 代議員会 その他
4				支部分担金			972,000	972,000				
5				補助金等支出			100,000	100,000				
	1			県歯科衛生士会補助金			100,000	100,000				
6				繰入金支出			11,224,000	18,224,000		7,000,000		
	1			退職積立金支出			1,224,000	1,224,000				
		1		役員退職金支出			504,000	504,000				役員14名分
		2		職員退職金支出			360,000	360,000				職員2名分
		3		長寿の里退職金支出			360,000	360,000				職員3名分
	2			基本財産繰入金			10,000,000	11,000,000		1,000,000		
	3			記念事業会計				6,000,000		6,000,000		
7				予備費			3,255,044	1,581,084	1,673,960			衛生週間、母子コンベンツ費他
8				借入金返済			1,000	1,000				
				計			94,978,000	102,235,000		7,257,000		

第9号議案

平成13年度熊本市歯科医師会（収益事業会計）予算（案）

〈収入の部〉

款	項	科	目	予	算	額	前年度予算額	増	減	備	考
1			雑収入			70,000	80,000		10,000		ガイドブック印税他
2			前年度繰越金			290,000	230,000	60,000			
			計			360,000	310,000	50,000			

〈支出の部〉

款	項	科	目	予	算	額	前年度予算額	増	減	備	考
1			寄付金			200,000	200,000				
2			利益金			1,000	1,000				
3			雑費			130,000	84,000	46,000			
4			租税公課			29,000	25,000	4,000			消費税
			計			360,000	310,000	50,000			

第10号議案

平成13年度熊本市歯科医師共済会計予算（案）

〈収入の部〉

款	項	科 目	予 算 額	前年度予算額	増	減	備 考
1		互 助 費	4,040,000	4,140,000		100,000	
	1	初 回 金	400,000	500,000		100,000	1人50,000円
	2	負 担 金	3,640,000	3,640,000			月1,000円
2		雑 収 入	200,000	200,000			
3		前年度繰越金	12,000,000	11,000,000	1,000,000		
		計	16,240,000	15,340,000	900,000		

〈支出の部〉

款	項	科 目	予 算 額	前年度予算額	増	減	備 考
1		給 付	14,700,000	5,700,000	9,000,000		
	1	傷病見舞金	700,000	700,000			1人20,000円
	2	弔 慰 金	4,000,000	4,000,000			会員、家族
	3	災害・見舞給付	1,000,000	1,000,000			
	4	生前給付	9,000,000		9,000,000		終身会員200,000円
2		供 花 費	235,000	235,000			生花、花環代
3		事 務 費	20,000	20,000			
	1	通 信 費	10,000	10,000			
	2	雑 費	10,000	10,000			
4		予 備 費	1,285,000	9,385,000		8,100,000	
		計	16,240,000	15,340,000	900,000		

第11号議案

平成13年度熊本市歯科医師会役職員退職積立金会計予算（案）

（役員）

〈収入の部〉

款	項	科 目	予 算 額	前年度予算額	増	減	備 考
1		役員退職積立金	504,000	504,000			14名分
2		前年度繰越金	546,000	42,000	504,000		
		計	1,500,000	546,000	504,000		

〈支出の部〉

款	項	科 目	予 算 額	前年度予算額	増	減	備 考
1		役員退職金	0	0			
2		次期繰越金	1,050,000	546,000	504,000		
		計	1,050,000	546,000	504,000		

(職員)

〈収入の部〉

款	項	科 目	予 算 額	前年度予算額	増	減	備 考
1		職員退職積立金	360,000	360,000			2名分
2		長寿の里積立金	360,000	360,000			3名分
3		預 金 利 子	7,000	7,000			
4		前年度繰越金	5,687,162	4,957,218	729,944		
		計	6,414,162	5,684,218	729,944		

〈支出の部〉

款	項	科 目	予 算 額	前年度予算額	増	減	備 考
1		職 員 退 職 金	0	0			
2		長寿の里退職金	0	0			
3		次 期 繰 越 金	6,414,162	5,684,218	729,944		
		計	6,414,162	5,684,218	729,944		

第12号議案

平成 13 年度会費及び負担金の賦課徴収方法について

科	目	年賦課額・賦課率	賦 課 方 法	徴 収 方 法
会 費	均等割 (一 般)	72,000	12回	毎月 (各6,000円)
	(終 身)	4,000	4回	4.5.6.7月 (各1,000円)
	(親 子)	36,000	12回	毎月 (各3,000円)
	(勤 務)	72,000	12回	毎月 (各6,000円)
	(特 別)	70,000	1回	4月
	矯正専門医、保険診療をしない一般会員	100,000	10回	4~1月 (各10,000円)
	所得割	1/1,000	12回	毎月 (社保、国保診療報酬)
入 会 金	一般会員	1,500,000	1回 分割	入 会 時 初回金 300,000円 翌月より 100,000円(12回)分割
	親子会員	1,000,000	〃	入 会 時 毎 月 100,000円(10回)分割
	勤務会員	2,000,000	〃	入 会 時 初回金 300,000円 翌月より 1年間(12回)分割
	特別会員	1,500,000	1回	入 会 時
共 済 会 費	初回金	50,000	1回	入 会 時
	負担金(一般、親子、勤務)	12,000	12回	毎月 (各1,000円)
	(終身)	2,000	死亡された月	死亡された都度(4人を限度)

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
2月22日	150回理事会(会務・庶務・委員会報告・協議)
3月 6日	151回理事会(会務・庶務・委員会報告・協議)
4月24日	152回理事会(会務・庶務・委員会報告・協議)
5月22日	153回理事会(会務・庶務・委員会報告・協議)

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
2月28日	中岳112号編集・かわら版3月号編集
3月 9日	中岳112号編集
3月16日	中岳112号編集
3月30日	かわら版4月号編集
4月 3日	中岳112号第1回校正・かわら版4月号第1回校正
4月10日	中岳112号第2回校正
4月20日	中岳112号第3回校正
4月25日	中岳113号編集・中岳バックナンバーファイルの校正
	かわら版5月号編集
5月 1日	かわら版5月号校正

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
3月 2日	社保個別指導研修会改善事項打ち合わせ
3月15日	支部別社保説明会の反省・在宅説明会の準備
4月20日	乳幼児医療費助成「現物不可」について 健保法施行規則等の一部改正に伴う実施上の留意事項について 健保法等の一部改正に伴う誤請求事例について 再審査取り下げの申し出について

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
3月28日	ビアパーティー打ち合わせ・入院入所者の集計
4月19日	ビアパーティー打ち合わせ
5月18日	ビアパーティー打ち合わせ・衛生週間について

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
3月11日	スタッフレベルアップセミナーについて・次年度予定について
4月12日	本年度事業計画について・受診率アップについて 三齒会・救急蘇生法講習会について
5月14日	三齒会・スタッフレベルアップセミナーについて 特別管理産業(感染性医療)廃棄物について 熊本市役所職員、家族歯科健診の協力医について

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
3月26日	平成13年度事業内容について 第2回学術講演会について
4月23日	平成13年度学術講演会について・日歯生涯研修ビデオについて 臨床Q&Aについて・ホームページについて
5月15日	平成13年度学術講演会について 臨床Q&Aについて

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
3月10日	平成13年度歯の衛生週間・貸出ビデオに関して検討 平成13年度委員会出務計画
4月18日	平成13年度熊本市立小学校に対する歯磨き巡回指導について 実施学校における学校保健会のたちあげに協力 県歯科衛生士会との打ち合わせ
5月16日	熊本市学校保健会出務に対する打ち合わせ 若葉小学校歯磨き巡回指導の報告 平成13年度歯磨き巡回指導実施について

公 衆 衛 生 委 員 会

月 日	協 議 題
3月21日	平成13年度熊本市歯の衛生週間 「歯の祭典」について・「歯の祭典」第1回全体会議について
4月17日	2001歯の祭典について

定 款 見 直 し 委 員 会

月 日	協 議 題
2月28日	現行の定款・定款施行規則のチェック
3月27日	同上
4月26日	同上

70周年記念事業委員会

月 日	協 議 題
2月28日	70周年記念会員名簿書類未提出者のチェック
3月 9日	70周年記念会員名簿作成会議
3月16日	同上
3月30日	同上
4月10日	同上
4月25日	70周年記念会員名簿第1回校正
5月 1日	70周年記念会員名簿第2回校正

～協同組合だより～

協同組合では下記のようにレセプト・カルテの他医院事務用品並びに各種商品を取り扱っていますので是非ご利用ください。

レセプト・カルテ・医院事務用品印刷販売のご案内

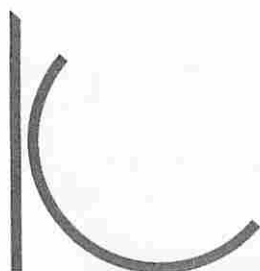
商 品 名	販売価格
(レセプト)	
コンピュータ用 100枚	450
手書き用(一般・50/100・老人) 100枚	300
単票 100枚	300
(カルテ)	
社保(本人)1・2号様式	250
社保(家族) 〃	250
国保 〃	250
(経理・検査諸書類)	
領収書 50枚	200
収支日計表 100枚	500
患者日計表 100枚	500
歯科経理帳 30枚	840
歯科予診録 100枚	330
歯周精密検査表 50組	650
歯科衛生士業務記録 50枚	170
紹介状 100枚	550
補綴物維持管理情報提供用紙 1,000枚	1,500
治療計画のお知らせ 100枚	380

その他の商品

パイプ/500円、アガリクス茸/16,000円、アクアドクターUF/19,800円、機能水生成装置/444,000円・リース可
 クリアベール/25,250円・36,750円・54,000円、リラックス/10,500円、エネルギーTシャツ/3,900円
 浄水生成装置/550,000円・リース可、ダイエットスリッパ/3,400円、プロボリス/24,000円/蛍光灯/11,000円
 カニバック/α 6,000円・88 α 9,000円・90 α 10,000円/高性能空気清浄機/月額リース18,500円
 フットマッサージャー/55,000円、オー・ナチュラル1,200円・15,000円、/バイオ式ゴミ処理機49,800円

上記商品のご用命及びお問い合わせは協同組合事務局(TEL343-6400)まで

技術と信頼がテーマです



DENTAL LABORATORY AISHI

株式
会社 愛 歯

〒860 熊本市大塚4丁目2番42号
Phone. 096-343-5839 Fax. 096-343-5105

編	集	後	記
---	---	---	---

待望の夏である。

私事だが、昨年からウェイクボードというマリンスポーツを始めた。いわゆるスノーボードの海版である。ボードも流行最先端。ブランド物のウェットスーツもきまっている。

あとは、ヘッピー腰をどーにかして、波に乗れば、爽快な夏をおくれるはずだが……。

(S・T)

熊本市歯科医師会会誌

第 113 号

発行日 平成13年6月25日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発行
責任者 関 剛 一

印刷所 株式会社 ハタノ

熊本市上熊本2丁目1-30

TEL096-356-6433 FAX096-311-1388